

H29. 5. 31

改革クラブ

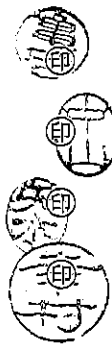
代表 亀田 英雄 様

八代市議会改革クラブ
管外行政視察復命書

視 察 期 日 : H29. 5. 17 (水) ~ H29. 5. 19 (金)

視 察 先 : 高知県森林組合連合会
大洲市
愛媛県

参 加 者 : 議 員 亀田 英雄
議 員 中山 諭扶哉
議 員 矢本 善彦
議 員 幸村 香代子



会派合同管外行政調査所見

改革クラブ 亀田 英雄

今回の会派視察は、熊本地震発災後初めての会派視察であり、常任委員会とも重なることが予想されたために、早めに予定を組ませていただいた。普段から議会報告会等を通じて行動を共にするメンバーでの久しぶりの視察に、話も弾み、精力的で活気あふれる視察となった。

以下、それぞれの視察の所見を簡単に述べたい。

◆視察日：平成29年5月17日(水)

◆視察先：高知県森林組合連合会

◆調査項目：・CLTを活用した建築事例と今後の展望について

《所感》一般的な木造住宅とは趣が違うものであるが、CLTの持つ特性を生かした構造で木造の良さを生かした、素晴らしい建物であった。

2. 4倍もの木材を使用するということで需要拡大にはつながるものの、耐用年数、建設費用、耐雨性、耐震性、強度等について不安を感じるころはある。

それでも大規模建築物に木材を利用するとなると、需要拡大も含めて有効なものであるので、様々な不安要素を解決して、建築材料として確立したものになるようになることを願うものである。

◆視察日：平成29年5月18日(木)

◆視察先：愛媛県大洲市

◆調査項目：・センター方式による地産地消の学校給食について
・大洲城を活かした観光振興策について

《所感》

・センター方式による地産地消の学校給食について

センター長には、赴任したばかりということであったものの、丁寧に対応いただいた。センター方式での地産地消の取り組みは難しいということであったが、トップの姿勢であり、想いということであった。こだわりは必要である。やはり、一大生産地は一大消費地でなくては行けない。自分たちのところで作ったものは安心で安全で廉価な食べ物であるはずである。それを使わないでどうしますかという話である。

それでも調達が無理な場合には、なるべく近くからという考え方に基づいており、徹底されている。アレルギー対応もされているとのことで、取り組みの丁寧さを改めて感じた。

学校給食は、自分たちの地域の子供たちが毎日食べるものであり、費用の面はあるにしても、安心で安全を第一に行うべきものである。譲れないものにはこだわりを持って取り組むべきであり、大洲市の取り組みは称賛に値するものである。

取り組み当初は15%程度であり、50%は無理との予測の中で市長の想いを込めた数字を示したものであったが、それを超えた数字が出た。総合計画にも目標数値を明示されているとのことであり、八代ではなかなか進まない取り組みではあるものの、トップの考え方、取り組みでどうでもなるものであると感じた。

八代市の農業は基幹産業であり、八代でも地産地消を推し進めることは、自分の育った地域に誇りを持ち、将来にわたって八代に住み続ける、また、将来八代に帰ってくるということに繋がるはずである。また、そうなるように推し進めなければならない。

そんな考え方に基づいて様々な施策も進めてもらいたいと考えるのは私だけではないと思う。

・大洲城を活かした観光振興策について

近年に修復されたお城は古い歴史を感じるものとはまた違う趣があり、感動した。史料が残っていたので忠実に再現できたとのことであったが、それでも地元の熱意があったものと思われる。多額の寄付によりこの城は完成したものであるが、なにより一人で一億円三千万以上寄付されている人がいるのは驚きであった。市民の思いがこもった城であると感じた。

お城を見学させていただいたが、指定管理者による出迎えも含めて、取り組む姿勢は素晴らしく、こちらにも他にはない熱意を感じた。

これからの観光は場当たりのでなく、ターゲットを絞る必要がある、中長期的な計画を立てる必要があるとの話を伺った。今後の課題について明確に認識されて、今後に対応されており、行政のあるべきすがたであると感じた。

◆視 察 日：平成 29 年 5 月 19 日(金)

◆視 察 先：愛媛県庁

◆調査項目：・えひめ防災インストラクター養成講座について

《所感》

初めての県庁対応に若干戸惑いながらの視察となった。

熊本地震を経験し、防災対策の必要性・重要性を再認識する中で、これからどのようなことに取り組まなければならないのかは、八代の最重要課題である。

災害時において、発災直後は公の機能に頼れない。共助が大事であるとの認識であった。行政だけの対応は限界・限度があり、現場に最も近い自主防災組織の果たす役割は重要であると常々考えていたものであるが、それを再認識させるものとなった。

このような講座を行いながら、市民の防災意識を高め、維持しながら普段から備えることが重要である。

以前、避難所の運営マニュアルは必要なものであると話をしたことがあったが、執行部でも認識されたにも関わらず、その作業が行われず、そこまでの対応になっていなかった。そんなことについても話があり、担当の防災に対する意識の正確さと高さを感じ、万が一の時は備えが必要であると思った。

八代市でもこの気持ちを是非とも取り入れてもらいたいと思えるものであった。

行政は市民の安心安全を確保しなければならない。防災に繋がることは常に市民に意識をしてもらうことが大事であり、そのために様々なやり方を工夫した施策を繰り返し実施し、啓発し続けることが大事であり、またそうなければならないと改めて認識した。

平成 29 年 5 月 17 日 (水)

高知県森林組合連合会

調査事項：CLT を活用した建築事例と今後の展望について

高知県は 84% が森林ということもあり、平成 25 年 7 月に CLT のプロジェクトが始まったとのことである。CLT 展示場としても活用されている森連会館を訪問させていただき、CLT についての見識を深めることができた。本来、CLT は耐力壁により柱の数を減らし、大きな空間を形成するなど利点を見出すことができるが、法の未整備などの影響からかこの建築物では、従来の軸組工法で建築され、CLT 材は床材と壁材にしか使われておらず、大変もったいない使われ方と感じた。CLT は待望されているにも関わらず、使用例が極端に少ないのは法整備の不足とコスト高にある。CLT は多くの木材を活用できるなど利点も多いので、官民一体となってしっかりとスピーディーに推進できるかがカギとなると改めて感じた。

平成 29 年 5 月 18 日 (木)

大洲市

調査事項①：センター方式による地産地消の学校給食について

大洲市は野菜や果樹の栽培が盛んであるようであり、合併後海に面したこともあり、本市と類似している。また、高齢化や担い手不足など課題も共通している。国の直接採択補助事業（地産地消モデルタウン事業）導入に際し、直売所「愛たい菜」をオープン、戦略の一環として直売所と連携した学校給食への農作物の供給を開始した。供給計画では 65% とのことで、H28 は 55.9% と目標に近づいており、今後 80% を目指していくとのことであった。地産地消であれば、規格を合わせることもなく、安全安心を謳えるので、非常に効率が良いと感じた。有用なシステムを構築できれば、県内・国内へと地域を拡大できるので、種類の不足など課題も解決できるので、ぜひとも拡大していただきたい。

調査事項②：大洲城を活かした観光振興策について

本市は城跡を有するものの、塀や天守閣など残っておらず、近年は白鷺城祭りなど民間でのイベント開催はあるが、天守閣再建など具体的な復元事業は計画されていない。城内に神社を祀っていることも大きい。大洲城は台所櫓・高欄櫓が現存しており、再建にはハードルが比較的低かったことが窺える。また、大工の家計に図面が残っていたことも大きな要因である。大洲城へも視察させていただいた。旗ふりにて歓迎していただき、非常に感激し、その後の見学は気持ちのいいものであった。5 月には「火縄銃合戦」&「300 人歓迎はたふり」を企画され、成功に終わっているようである。こちらも DMO を設立さ

れており、今後連携を図ることとなっているようである。各地でDMO設立運用の動きが出ている。存在価値を示すことができれば大いに活用が見込まれるので、良き前例として頑張っていただきたい。

平成 29 年 5 月 19 日（金）

愛媛県

調査事項：えひめ防災インストラクター養成講座について

目的は、防災についての経験、技能、知識等を有し、地域の防災活動に関しての市道や助言できるものを「えひめ防災インストラクター」として認定し、地域の防災力の向上を図るとしている。自助・公助・協助と言われる中で、人命救助を通して自主防災組織の育成を行っている。南海トラフ地震による災害想定では、宇和海では10～15m、瀬戸内海においても4.5mの津波を想定しているとのことであり、総じて防災についての意識は高いと感じた。資格条件は防災士で市長が推薦した者であり、インストラクターは392名とのことである。被災時において、避難所の運営リーダーの育成も兼ねているとのことで、県下2000か所の避難所で活躍していただくため、さらに多くの育成が必要とされる。問題点は高齢者が多いことと全体の2割にしか満たない女性の育成である。机上の上では非常に良い取り組みに思える。しかし、緊急時に動けるようにするためには一時的な権限の移行など考えなければならないことが多くあるように思えた。最後に現状での評価をされているのかお聞きしたが、明確な返答が得られなかったことは残念であった。自主防災のため、本当に有用となる事業なのかしっかり検証する必要があると強く感じた。

会派視察議員所見

受講日：平成29年5月17日（水） 改革クラブ 矢本善彦

研修先：高知県森林組合連合会

研修内容：CLTを活用した建築事例と今後の展望について

所感：

国土面積の3分の2は森林である日本において、木造建築の新技术であるCLTの普及と林業界におけるCLT工法の導入は、地域産業の発展、雇用の創出、地域経済の活性化を目指している。

木材利用を積極的に推進することで、本格的な収穫期を迎えている国産材の消費を拡大して行くことが期待できる。

高知県は県土の約84%を占め、県下で最も広い森林面積をもつ自治体である。

CLT工法の第一号建築物として高知県森林連合会館を視察する。

会館の紹介DVD視聴し、会館を見学しました。

横揺れに耐える力は通常の1.8倍、壁が多いこともCLT工法の耐震性を高めている構造である。

CLTの普及に向けた取り組みは、木材活用に新たに可能性を与える木質材料で、地方創生の切り札としての期待も高い。

まず挙げられるのは、森林資源を有効活用できるということです。

CLT は板を重ねて接着するので、あまり太くない木や節の多いものなど一般的に建材として不向きな木材でも活用することができます。

つまり、山林の適切な保全に CLT が役立つというわけです。

八代市の新庁舎建設をはじめとする公共建築物において、CLT 材や地元産の木材を使用した木の香りと温かみを感じられる。

森林面積の 7 割を占める八代市において、地域資源である森林を無駄なく使う取り組みに感銘を受けた。

※ CLT (Cross Laminated Timber) とは、直行集成板とも呼ばれ、強度・断熱・耐火・遮音性に優れ、施工が速く、軽いことが特徴の新しい木質構造用材料のこと。

会派視察議員所見

受講日：平成29年5月18日（木） 改革クラブ 矢本善彦

研修先：愛媛県大州市

研修内容：①センター方式による地産地消の学校給食について
所感

市長から、新学校給食センターの生鮮野菜自給率、50%目標値として設定したことを受け、教育委員会がJA愛媛たいき等関係者を交え食材調達会議を開催することを提案されている。

平成21年度に国の直接採択補助事業（地産地消モデルタウン事業）を導入し、平成22年4月に大州市の地産地消拠点施設として農産物直売所（たいき産直市 愛たい野菜）がオープンされている。

大州産の農産物に対する理解、関心が高まり、給食センターの需要量に対応できる供給量を確保できたとともに、愛たい菜の既存の出荷者協議会に学校給食部会を設置して頂くなど、高齢者、小規模農家のやりがいと所得の向上に繋がった。本市も、給食センター建設の計画されております。大州市の給食センターを参考にしたいと思えます。

（株）、大州給食PFIサービス（BTO方式）

事業費 36億2千万円（施設整備 維持管理 運営）

給食センター管理 調理 委託業者 代表企業（株）四電力

調理数 約 4、300 食 生鮮野菜、果物の供給 地産地消率
60、1% (米は含まない)

八代市の学校給食の現状

単独調理校 9校 2,058食

給食センター 6施設 9,006食 調理数11,064食

管理運営費 (平成27年度決算額)

単独調理校 55,192千円

給食センター 127,283千円

研修内容：②大洲城を活かした観光振興策について

所 感

・大洲は、鎌倉時代から城下町の名残を留める数多くの遺跡、文化財に恵まれ山紫水明、風光明媚なことから、多くの人々に親しまれた街で、現在も昔ながらの古い街並みが至る所に残されて居り、木造での復元がなされた大洲城天守閣と合わせて小京都の風情を感じさせる街であります。

全国的にも数少ない悠久の歴史情緒を肌で感じながら観光を楽しむ「まち歩き」型観光地である。

その中で案内して頂いた大洲城、臥龍山荘は案内人と共に観光客の姿が見られ、施設内の管理も充分に行き届いていた。

管理については委託業者が行っている。（委託料500万円）

大洲城天守閣復元事業 （旧大州市制施行50周年記念事業）

明治時代（1888年）に取のけられた大洲城天守閣を史実の忠実に木造で復元し、現存する台所櫓、高欄櫓と接続したもの、

戦後復元された木造天守閣としては最高の高さは日本一

（19, 15m）で木造四層四階建ては国内初。
国の重要文化財（本体工事費 13億円 一般寄付約5億3千万円）

入城者 約47万人 (平成29年3月末現在)

大洲城天守の中で、天守内の木の美しさ、木組に秘められた匠の技とその美しさを体感しながら説明を聞く。

- ・第3セクターの(株)おおず街なか再生館は、行政から委託を受け、
 - ・大洲市の観光は観光案内人が観光振興のカギを握っていると思う。
- 観光案内人は募集を行い学習し、その中で初級、中級、上級に分けられ、上級者だけが案内人として現場に出ている。案内料金は、11コース1,500円、観光バスなど団体客の場合は1人300円で旅行会社と契約している。

八代市も豊かな観光資源を活用し、多様化する観光客のニーズに対応しながら、観光客の満足度を高めるためにも、観光を包括的にマネジメントするDMOの体制づくりを参考にし、大州市の心温まるおもてなしに感銘を受け、先進的な観光振興策の取り組みを参考にしたい。

会派視察議員所見

受講日：平成29年5月19日（金） 改革クラブ 矢本善彦

研修先：愛媛県庁

研修内容：①えひめ防災インストラクター養成講座について

所感

今後発生すると言われている南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの自然災害に備え、減災と社会の防災力の向上を目標として活動する防災士の存在は欠かせないと思う。

愛媛県では、防災士の方を対象にえひめ防災インストラクターを養成するための講座を開催している。

えひめ防災インストラクターはと、防災に関する経験や技能、知識を有している方を、地域防災のリーダーとして県が認定し、自身の自主防災組織の育成だけでなく、組織の枠を超えて地域全体の防災力強化のために活躍して頂くものです。

現在392名の防災士を認定している。

目標 4人に1人、女性防災士25%以上

自主防災組織率 93%

愛媛県においても、近い将来巨大地震が発生し、津波の被害が発生するおそれがあり、南海トラフ巨大地震による被害は甚大なものと

なります。

このような巨大地震に備えるため愛媛県内の各自治体や地域防災力の向上に役立てられていることに感銘を受けた。

②避難所運営リーダー育成研修の実施状況について、

愛媛県では、自主防災組織の役員や防災士等を対象に、避難所運営リーダーを通じて避難所の開設、運営の方法や注意点を学んで頂く、避難所運営リーダー育成研修を県内6会場で実施されている。

県下、2,000ヶ所の避難所があり、平成27年～29年の3年間、約1,000名研修を受講している。

八代市における市民の防災に対する意識はますます高まっている。

熊本地震発生時には多くの方が避難所での生活を余儀なくされ、実際に避難所の運営に関わられた経験から、個人や家庭だけで災害に対応することは困難であるなど、改めて自然災害の脅威を思い知らされました。

震災に強いまちづくりを進め、災害による被害の最小限に図るためには、公助の役割もさることながら、生活の基礎である家庭や地域における自助・共助の取り組みにおいて、日頃から防災・

減災について関心を持ち、地域ごとの特性に応じたきめ細かな

防災・減災対策を行うことが求められている。

本市は、住民自治組織で防災リーダーの研修会はあるものの防災士の養成講座は実施していない状況である。

熊本地震を踏まえ、えひめ防災インストラクター制度や、避難所運営リーダー育成研修などは、地域住民のリーダーとして、災害発生時の避難所での混乱を防ぐためにも、地域住民が主体的に避難所の開設、運営に関わることは喫緊の課題であり参考になりました。

八代市

自主防災組織 213組織

組織率 82.27%

会派視察議員所見

議員名【幸村香代子】

- ◆受講日：平成29年5月17日（水）
- ◆研修先：高知県森林組合連合会
- ◆研修内容：CLTを活用した建築事例と今後の展望について

■CLTとは、cross laminated timber（クロス・ラミネイティド・ティンバー）の略で、欧州で開発された工法。板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのこと。平成25年12月20日に日本農林規格（JAS）として、直交集成板の名称により制定され、平成28年1月19日に施行された。一般的によく知られている集成材は、張り合わせる板の繊維方向が並行方向に張り合わされるのに対して、CLTは、繊維方向が直交するように交互に張り合わせていく。

■高知県森林組合連合会は、CLTの普及拡大を進めており、視察場所となった施設（事務所）は平成28年3月に完成したCLT工法により建築された施設である。高知県は森林面積が84%あり、その有効活用が課題となっている。高知県で伐採された木材は岡山県に送られてCLTパネルに加工され、それが再び高知県の建築資材となる。この輸送費のコストが価格に反映されることになる。事務所の木材使用量は555㎡で、そのうちCLTは321㎡ということであった。

■高知県におけるCLT普及拡大の取り組みは、CLT建築推進協議会が中心となり進めておられ、プロジェクトとして、建築事例を実証フィールドとして課題解決に取り組まれている。

■CLT工法による施設を実際に見たのは初めてであった。本市も市庁舎を含む、公共施設の建設計画があるが、積極的に目に見える形で地元産材が使用されている感覚は薄い。森林面積が70%を占める本市においても当然のことながら、木材の利活用は施策として進める必要がある。

■九州では、鹿児島でCLT加工を行っている。コストや耐久性、耐震性、補助金制度など、詳細な調査を行い、導入に向けて検討したい。

会派視察議員所見

議員名【幸村香代子】

◆受講日：平成29年5月18日（木）

◆研修先：愛知県大洲市

◆研修内容：センター方式による地産地消の学校給食について

■学校給食の地産地消は、本市のように第一次産業が基幹産業である場合、多くの自治体が目指すものである。私も強い関心をもっている。その中で、・センター方式では食材の量と質を揃えるのが難しいと聞いていたので、大洲市のセンター方式でも地産地消の取り組みが進められていることをぜひとも研修したかった。

■平成17年の市町村合併により農林水産業第一次産業の占める割合が大きなものとなった。しかし、生産者と消費者が豊富な地元「産財」の恩恵を享受できていない状況があった。これを解決するために、すべての生産者とすべて消費者が当事者意識を持って地産地消に取り組める環境づくりが必要という認識に立つ。国の直接採択補助事業「地産地消モデルタウン事業」の導入で取り組む。

■「大洲市地産地消推進協議会」を設置し、モデルタウン構想の立案及び推進活動の母体となる。活動の拠点として農林水産物直売所を整備。平成22年4月にオープン。

■学校給食における地産地消は平成21年度に先進地である今治市を視察した。今治市は自校式が多く、大洲市はセンター式であったために、センター方式で地元農産物の利用は困難か、ということについて解決策を見出すことになる。⇒出荷者の出荷意思、能力を前提に出荷計画を立案する。万一の荷不足リスクに迅速に対処する体制を整備することで対応。

■学校給食の米を大洲産米に変更。

■給食センターでの過去3年間の生鮮野菜の日別使用料を調査集計など着実に計画が推進されていく。

■そもそもなぜこのような取り組みが推進されたのかは、市長のトップ判断によるところが大きい。自給率目標値50%を目標値として表明。さらに、総合計画（平成29年度）では65%を表明。これにより進めざるを得ない状況が作られる。

■本市でも可能な取り組みである。どこが担当するのかということではなく、市全体で進めていけるような仕組みをつくる必要がある。

会派視察議員所見

議員名【幸村香代子】

- ◆受講日：平成29年5月18日（木）
- ◆研修先：愛知県大洲市
- ◆研修内容：大洲城を活かした観光振興策について

■大洲市は豊かな観光資源を活かした都市づくりが行われており、お城の再建もそのひとつである。

■再建については市民の熱意が大きかったとのこと。市民による寄付などのよって、平成16年に復元されている。復元が可能になった背景としては、多くの資料が残っていたためである。明治時代の古写真や「天守雛形」とよばれる江戸期の木組み模型などである。このような資料が残っていることは稀で、大洲城の復元は、地元住民の想いと。史料研究の集大成といえる。

■現在、江戸時代から残る台所櫓、南隅櫓など4棟の櫓は国の重要文化財、城跡一帯が県指定史跡に指定されている。

■お城の視察も行ったが、到着する直前に甲冑を着てぼり旗を振ってのお出迎えであった。非常にテンションが上がるし、来城を喜んでいただいている気持ちが嬉しいものである。

■お城ブームもあり、多くの来場者があつたし、地元の小学生の見学会も行われていた。市民の中にお城を誇りにしている様子がうかがえる。

■本市の八代城の再建も話題に上るが、まずは、市民の気運の高まりが必要であると感じた。

会派視察議員所見

議員名【幸村香代子】

◆受講日：平成29年5月19日（金）

◆研修先：愛媛県

◆研修内容：えひめ防災インストラクター養成講座について

■（１）養成講座を実施するに至った経緯について

・自助、共助、公助の連携で防災対策を行う。大規模震災では自助、初期の共助が人命救助に役立つと考えている。自主防災組織の育成支援をおこなっているが、温度差がある。平成20年度に地域の防災リーダーを創設。平成22年度から認定をするだけでなく養成を行うようにした。

■実施状況と効果

・392名のインストラクターに認定を行った。

・推薦者に対する講座である。

■課題

・これまで座学のみであったが、29年度から実技訓練も行う。

・展示施設の設置をしたい。

Q：推薦の条件は？

A：防災士の資格を持った者としている。防災士の育成は件が力をいれている。

平成23～25は1,552人。平成26～27は1,397人。平成28～は2,000人目標。個人負担は無し。ただし、教本代、受講料、登録料の11,000円は必要。通常であれば6万円かかる。これを0とする。防災士は9,365人いて、日本で2番目に多い。

Q：女性のインストラクターは？

A：防災士の女性割合が2割である。28年から3年の2000人のうち25%以上を目標に掲げている。

Q：年齢構成は？

A：把握していないが、高いと思う。

Q：インストラクターは更新制度か？

A：そうではない。

■防災については、どの自治体もさまざまな取り組みをおこなっているが、まずは、自助、共助の初期対応が重要であると考えている。このインストラクターとか防災士という制度は防災の意識を高めるのにとっても良いと思う。

平成29年5月17日～19日
会派合同視察

堀 徹男

実父5月12日不幸のため視察は欠席。

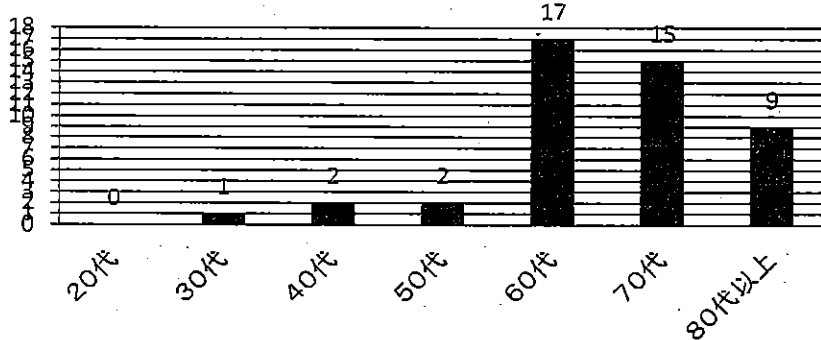
議会報告会アンケート集計結果

2017.4.11太田郷・4.12ハーモニー・4.14宮地

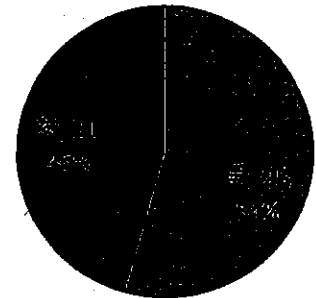
参加者 47 名

回答者 47 名

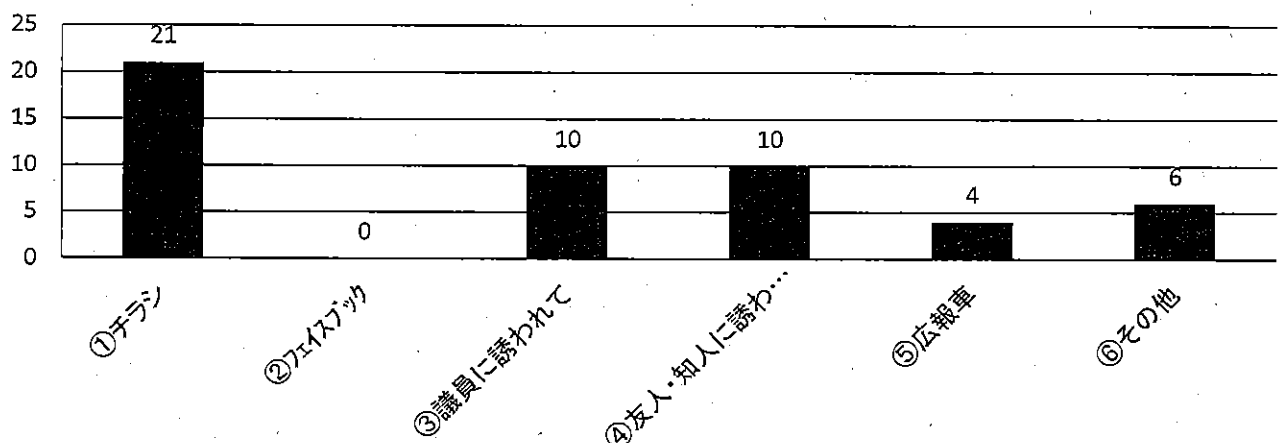
Q1. あなたの年代は？



Q2. 性別は？



Q3. 参加の動機は？(複数回答有)



⑥その他の記入内容

サークル、幸村通信、母に誘われて

Q4. 感想やご意見をお聞かせください(語尾の…は解読不能。後ページの原本で確認して下さい)

- ・市民参加の政治が本当に機能するよう、よく説明がなされていると思いました。詳しい資料も良かったです。
- ・良かったです。市立病院の問題ですが市長は何を考慮されているのかわかりませんので
- ・初めて参加させていただきました。市役所職員の義理兄妹から有志の会の先生方の市政への取り組みは素晴らしいので『一度、報告会に参加してみたら』と言われ今回、参加しました。先生方の熱意ある報告を聴いて感動しました。今後も是非参加します。ありがとうございました。
- ・盛り沢山の内容で時間が足りないと思いました。議会報告も早口で審議内容をより詳しく伝えたいと思われているのが良くわかります。ご多忙な議員さん方、頑張ってください。いつもありがとうございます。
- ・市政の現状を聞かせていただき今後の市のあり方を自分なりに考えたいと思い参加しました。見えにくい市(行政)をわかりやすくご説明頂いたと思います。
- ・今日の報告会とは合致しませんが、お尋ねします。お堀の遊覧や人力車？発注が貧弱。次回の報告会で予算含め実施に至った経緯など説明願いたい。必ずお願いいたします。
- ・議場には中々いけないのでここで話を聞かせてもらい、市民として考えるべき大切なことを知りました。

話も分かりやすかったです。

- ・初めて参加。内容が濃くついていき難かったが何かのきっかけにしたい。市立病院がたとえ赤字であろうと市民サービスの観点から再開すべきと思う。
- ・市立病院の現状を知りたくて参加しました。
- ・有意義である。
- ・市立病院の再開は是非実現したいと思いました。頑張って下さい。
- ・会場からの意見や質問に議員が直接答えられるのが面白いと思った。
- ・本日はお忙しい中我が校区で議会報告会を開催して頂き有難うございました。新幹線の騒音、振動問題と市立病院の再開にご尽力いただきますようお願いいたします。
- ・参加して良かった。お話を聞いて市立病院の必要性を大いに感じました。議員の皆様頑張って下さい。ありがとうございました。
- ・初めて参加し、議会の内容等が解りました。これからも聞きたいと思います。
- ・初めて参加。市立病院の話を知りたくて来ました。
- ・大変ありがとうございました。活動の一部を紹介していただき議員の皆さんとの距離が近くなりました。
- ・市立病院が今後どうなるのか聞きたかった。外来だけでなく入院施設の再開を実現してほしいと思います。
- ・市議会の内容、議題に関する説明を知りたかった。
- ・市立病院継続の説明を知りたかった。署名運動は地元及び町協でなくて良いか？
- ・インターネットで議会報告は聞きましたが、生の声で聞かせてもらい大変勉強になりました。特に私立病院の存続の件や食肉センター跡地問題は宮地で生活している者にとっては直接関係のある問題です。地域住民の納得いくような方向にもっていただきたいと思います。
- ・会の内容をわかりやすく説明して頂きました。
- ・参加して良かった。市の課題をわかりやすく説明があり、何より地域の課題(市立病院)も取り上げられ今後の方針も提起され、親しみのもてる報告会になったと思う。今後、具現化に向けて努力して頂きたい。
- ・市立病院の事が気になり参加。医療介護福祉の連携で絶対に必要な公立病院です。
- ・市の現状がおぼろげにでもわかりました。財政が厳しいのがよくわかりました。市立病院は市民の為に必要なことです。私たち高齢者には深刻な問題です。どうか良い方向に行くようお願いします。宮地校区民として、バス路線を真剣に考えて頂きたい。労災病院に行くにも駅では労災病院行を見送ることになってます。
- ・参加して議会のあり方が良く聞き取れた。市立病院が早期に再開されるようお願いします。市長や他の議員は公立病院の役割をどれだけ理解されているのでしょうか？弱者のための病院なのです。
- ・市立病院の存在価値および経営の方向性、……場所…あり方をぜひ様々考えて頂きたい。
- ・各項目をもっと詳しく説明して下さい。時間が短い。
- ・大変わかりやすい説明でした。市長の決断が遅い。

Q5. 議会報告会で取上げてほしいテーマは？(意見も含む)

- ・今後も多くの人に参加できるように頑張って下さい。
- ・その後の市立病院問題の経過を知りたいです。皆さんが日頃から市民の為に頑張っておられる様子がよくわかりますが、現市長に対抗できる候補者を早く擁立され良識ある市長で八代市政が執行されることを願います。
- ・代の観光、DMOの予算含めて現状と将来性について。新庁舎の予算について毎回取上げてほしい。134億は想定の倍、112億これでも高すぎる、人口や税収に対しまともな金額？
- ・市庁舎建設について。
- ・公共交通バス。水俣のコミュニティバスのような物を導入しないのか？フッ化物洗口は子どもの身体に悪いのでは？
- ・現状でも満足だが、少子高齢化が進む中、市の借金が市民にどのような負担を科して行くのかご教示願いたいと思う。
- ・議会の内容を聞き、市民には難しい内容もあったが一生懸命取り組んでおられるのを聞き安心しております。この先も頑張って下さい。お疲れ様でした。
- ・報告会を初めて聞いたが大変良くわかった。これからも参加したいと思う。
- ・市立病院の存続について、宮地校区全世帯にアンケートを配布する等計画してはどうか？
- ・様々なテーマで皆さんに興味を持って貰える内容を。
- ・市全般の報告は勿論だが、各地域に関係する報告があると身近に感じられる。関心が上がるのでは？
- ・中心的話題も複数議員が視点を変えての報告も。
- ・八代市の今後のあり方、どのように素晴らしい街にするか、財源をどのように増し、住民サービスを向上させるかを考えて意見を出してほしい。今までのやり方、反対だけではおかしい。

意見交換会での質問事項

議会報告会アンケート集計

開催日：平成 27 年 7 月 10 日（月）①13 時 30 分～②19 時～

会 場：やつしろハーモニーホール

アンケート回収：①13 枚②32 枚

集計

1、年代 10 代 1 人 20 代 2 人 30 代 0 人 40 代 5 人 50 代 6 人
60 代 16 人 70 代 14 人 80 代 1 人

2、性別 男 25 人 女 20 人

3、①議員に誘われて 5 人

②フェイスブックを見て 0 人

③議員に誘われて 28 人

④友人知人から誘われて 5 人

⑤広報車の放送を聴いて 2 人

⑥その他・父に誘われて・自分自身興味があつて

・八代女性市民の会

・グリーンユープ

・手話通訳付きと聞いたので個人的な勉強のため

・都議会選挙の結果に本市での議会の様子に関心を持った

・前は広報車を聞いて参加したが今回は耳にしなかった

・組織会合で案内があった

・手話通訳を見たくて出席した

4、本日、参加された感想やご意見をお聞かせ下さい

・市の現状を知るためにもこの様な報告会に参加することが効果的であると感じた。

今回参加してみて、改めて市の現状を知ることができたし、また、自分も政治にもっと関わっていかなければならないという意欲もかきたてられた。若者がもっとこのような場に触れられるようになっていければと思う。

・議会、委員会の様子を映像など通して、実際に議論している場面を字幕つきで用いるなどすると、それぞれ傍聴したことのない市民でも議会中の活動を把握できるのではないのでしょうか。

・初めて参加しましたが、若い人が少なく驚きました。今後、若い人が増えるよう私からも友人や知人に声をかけます。

・4 年間、35 会場 48 回延べ 718 人はあまりにも少なすぎます。もっと周知方法を考えてください。自分なりに周知します。

・八代市の現状を詳しく聞けました。

・幸村さんにはぜひ八代市民のために頑張っていただきたい。

- ・八代市立病院については、もっと必要性を訴えかけて存続させてもらいたい。
- ・市民と話す機会を持つ姿勢は大切だと思います。意見交換も直に行うことで、議会のレベルアップにつながると思う。
- ・パワーポイントを使ってとてもわかりやすく報告いただき、わかりやすく聞くことができました。
- ・市民の目線から八代市をより住みやすい町に議員さんたち頑張ってください。
- ・4年間本当にお疲れさまでした。他にも何人かいらっしゃったのではと思いながらいきました。議員さんお顔と名前が一致する頃にはまた選挙です。どうぞ頑張ってください。10年後の八代はどう変わっているのでしょうか。夢、希望、目標、課題もたくさんありますから、八代のために頑張る気持ちをどうぞ大切にしてください。
- ・久しぶりに参加させていただきました。以前に比べて会の振興、資料の見やすさ、わかりやすい説明などとても改善されていると感じました。今後もぜひ続けて頂きたいと思います。
- ・市立病院の件、情報が周知されていない、議論されていないのは残念に思った。地震で運営が出来なくなったのは仕方ない風潮があるように思う。
- ・議会のことが良くわかった。
- ・議会報告ありがたくいつも聞いていました。ありがとうございました。お疲れ様です。
- ・4年間、ご苦勞様でした。色々とり組まれ感謝します。
- ・皆さま方の取り組みにいつも感謝しております。市民に分かりやすく議会について報告していただく活動は今後も続けて頂きたいと思います。市民に選択肢を示してもらって嬉しく思います。ありがとうございました。クルーズ客船に対する報告は大変興味深く聞かせて頂きました。
- ・とても充実した報告会でした。ありがとうございました。
- ・こうした開かれた議会〔市民参加〕がいいです。
- ・なかなか得ることのできない市政の情報をこの報告会で得ることができ、ありがたく思っています。また、意見要望を議会に反映していただきありがとうございます。でも、これが議員のあるべき姿、あたり前のことだと思います。今後も続けて下さい。
- ・今日は初めての参加でした。もっと来ればよかったと反省しています。
- ・八代市の永続的発展のために真摯な態度でこれからも精進してください。
- ・皆さん4年間よく勉強されていると思った。
- ・意見交換で出されたようにこの会に参加しておられる議員さんたちの見識を高めるものであったと思う。その皆さんの力により、市の行政の力も高めたものと思う。ぜひ、戻ってきて、さらにこの会に参加される議員が増えるのを期待しています。
- ・よくわかりました。ご苦勞様でした。

- ・ 今期最後の議会報告会ということで、議員の皆さまにも特別の思いのある様子が感じられました。回を重ねる毎に充実した報告会が選挙後どのようになるのか気がかりです。新しい議会になってもぜひ必ず当選されて、ますます充実する様に続けて欲しいと願っています。
- ・ 良好。
- ・ 来期もぜひ続けてほしい。
- ・ 市より詳しい事が今ひとつ少ない、もう少し数を多くして欲しい。
- ・ 機会あるごとに参加させていただきました。当初は議会構成が保守与党多数での議会運営で市民目線での市政が難しかったように感じていた。しかし、後半になると構成が変化したことにより、行政方針が変わってきたように感じた。この8月に市長市議選が執行されるが更に民主化へ向けた市政へと進むことを期待しています。
- ・ 皆よく勉強している。議員としての使命感がある。
- ・ 市議会ではどのような議題が発議され、どんな話し合いで、どのように決議されているか、今まで良くわからなかったが、このように議会報告会を開催していただきとても良くわかりました。説明もわかりやすくまた、議員の方にも回を重ねる毎に上手に説明されています。有難うございました。
- ・ テーマが決められていて話しがわかりやすかった。
- ・ 合同報告会がずっと続けられるようにしてください。
- ・ 質問に真摯に答えていただいてありがとうございました。
- ・ 市政発展の為に全議員団結して頑張っていたきたいと思います。
- ・ 若い人（高校生を含む）が参加できるように工夫を！（コンサート風、劇化）若い人に問題提起をしてもらおう。若い人とのディスカッション（討論など）
- ・ 分かりやすくお話ししていただき全体が見えてきました。
- ・ このような機会を継続していただきたい。新聞では簡単すぎて理解できません。
- ・ 市民のために一生懸命取り組んでおられることよくわかりました。出来るなら議員さん全員の方の顔を拝見したかったです。
- ・ 大変有意義な会でした。私たちが市の現状をいかに理解していなかったかを反省しています。

5、これから議会報告会で取り上げて欲しいテーマ

- ・ ヒアリ、インバウンドの方へのマナーアップ。
- ・ 市長になられても報告会続けてください。
- ・ ひとり親家庭、経済状況について。
- ・ 老人が増えている現状について。
- ・ 若者の定住できる行政、まちづくりについて。
- ・ 学童保育の待機児童について。
- ・ 継続した報告会の取り組みは、議員のみなさまの努力の積み重ねを感じます。準備等大変かと思いますが、是非続けていっていただきたいです。教育関係のテ

マが興味あります。

- ・いろいろなことを考えておられる方が八代にはたくさんおられるということをこの場所にきていつも知ることができました。ありがとうございました。
- ・18 歳から選挙権となりましたが、子どもはまだまだ市政に関心が薄いように思います。市内の小中高高専大学生との交流のような取り組み、何かできないものかと思っています。
- ・焼却炉の現在。
- ・クルーズ客船の現状及び今後の展望。
- ・会派合同議会報告会を今後も続けて欲しい。
- ・対決姿勢を薄め協調する議会にどうすればいいか考える必要があるのでは。
- ・その後の市立病院（入院病棟再開）の結果について
- ・定例議会での質問と答弁など全て議会傍聴に行かれない人が多いので、開かれた議会としてこの報告会はとてもいざが有り何でも報告してください。
- ・外国船の対策。どうすれば八代にお客を受け入れられるようになるのか対策を。もったいない
- ・市立病院について充分討論して欲しい。
- ・「共生社会をめざして」特に外国人との共生をどうする？八代市の一員としてみる。
- ・元気券発行して欲しい。本当に必要な人に見えるように、まとめ買いはストップさせて頂きたい。
- ・市民病院、市庁舎、環境センターについて引き続き情報発信をお願い致します。